

☆☆☆☆☆ スタッフ紹介 ☆☆☆☆☆



名前：松田光央（料理長）
出身：千葉県館山市
ひとこと：美味しい料理を頑張って作っていきますのでヨロシク！



名前：神保清司（ジン）
出身：山形県米沢市
ひとこと：自然を相手に暮しを立てる知恵と力を欲して早や15年。



名前：香山正幸（かやまん）
出身：京都府向日市
ひとこと：海・川など水辺をこよなく愛する。南房総の海を満喫しましょう!!



名前：白井健（ネギ）
出身：千葉県南房総市
ひとこと：海から山まで、南房総の自然の魅力をお伝えします。



名前：山崎大地（だいすけ）
出身：千葉県船橋市
ひとこと：大房岬の植物の事なら私にお任せください！



名前：花嶋桃子（ぼによ）
出身：茨城県龍ヶ崎市
ひとこと：一緒に自然の中で思いっきり身体を動かして遊びましょう！

NEW



名前：鈴木美寿穂（みーちゃん）
出身：埼玉県川口市
ひとこと：はじめまして！この春から新社会人になりました。学生時代は動物の専門学校で、海の生き物について勉強をしていました。知識も経験もまだまだですが、みなさんと自然の架け橋になればと思います！よろしくお願いします。

お知らせ

夏季期間の予約は前年 10 月 1 日より受け付けておりましたが、
平成 31 年度分の夏季期間の予約も一律で、利用開始日の 1 年前の同月 1 日朝 9 時から電話受付開始になります。

平成 31 年 7 月 1 日～7 月 31 日分の予約は平成 30 年 7 月 1 日より開始
平成 31 年 8 月 1 日～8 月 31 日分の予約は平成 30 年 8 月 1 日より開始



イベント用 facebook ページ開設しました！⇒ **「南房総で自然体験 野遊び倶楽部」**
南房総自然体験 facebook ページで検索！！



【発行元】南房総市大房岬自然の家（所長 神保 清司）

（指定管理者） NPO 法人千葉自然学校
〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23
メール：taibusamisaki@chiba-ns.net

電話：0470-33-4561 FAX：0470-33-4564
ホームページ：http://taibusa.jp/

はなっと・・・房州弁で「岬（先端）」。大房岬から、たくさんの耳よりな情報をみなさんにお届けします！



はなっと通信

たいぶさ 大房岬の近況報告



青い空に白い雲。コバルトブルーの海。
1人でもいいけれど、誰かと一緒にぜひ。

新年度がスタートしました。おろしたての制服で身を包む学生、ピカピカのランドセルを背負う子供たちを見ると、今でも当時のそわそわ・ドキドキな気持ちを出します。フレッシュな気持ちを忘れず、スタッフ一同精進していく所存ですので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

1 月から 3 月までの約 2 か月間、週 2 回地域の方々と大房岬を小一時間歩くという取り組みを実施しました。元々の目的は「健康増進」でしたが、それ以外に多くの気づきがありました。特に印象的だったのは「景色の見え方の違い」。海や空の色の変化。穏やかな海かと思えば一転、次の週には、台風さながらに白波が立ち荒れた海に豹変したり。気温や風によって影響されるので、毎日景色が違うのは当然のことですが、実際に目の当たりにすると、改めて自然の神秘を感じます。また、一緒に歩く人がいると、その分発見が増えます。自分では気づかなくても、「あ！あそこでメジロが鳴いているね！」「もうアジサイの葉っぱが出てきた」と、他の誰かが気づくとみんなでそれを共有することができるのです。小さなことですが、「みんなで宝箱を覗いている」そんな幸せな気分になります。

どれもごく普通のこと、特別なことではありません。ですが、忙しい毎日を過ごす私たちには、そんな時間を持つこと自体があまりないようにも思えます。慌ただしく過ぎてしまいがちな春ですが、家族や友人とちょっと近くを散歩してみたり、好きな景色をぼーっと眺めてみてはいかがでしょうか？ちょっぴり心が豊かになるはず。

所長の目線

本格的な春の到来を迎えた大房（たいぶさ）岬では、桜の花も、その見頃がソメイヨシノから八重桜へと移ります。足元に目を向けると草花も勢いよく伸び始め、茶色かった岬の風景が緑色に姿を変えました。海の様子も穏やかな風の日が多くなり、水温はまだ低いのですが、晴れた日の潮溜まりでは、ハゼやヤドカリの姿が見受けられるようになりました。このような穏やかな春を迎えるまで、冬の間の大房岬では、あることを耐え忍ばなくてはなりません。それは、「オオニシ」と呼ばれる猛烈な西風です。通常 7～8 m ほどの風が吹き、強いときには 12 m を超えることもあるのです。南房総の風物詩でもあり悩みのタネにもなる「オオニシ」ですが、実は、このオオニシが吹くことで海が荒れて海水がかきまぜられ海の中が活性化し結果として多様な生物の生息環境が整えられるという効果もあるようです。人と自然の関係性もまた多様ということでしょうか。徒然なるままに。



●休所日情報● 4月～6月の休所日は次の通りです。
4月2日（月）12日（木）～15日（日）29日（日）30日（月）5月14日（月）



プログラム紹介★磯遊び&磯探検ツアー★

春の海は海藻が繁茂し、様々な生き物の誕生で溢れています。南房総の海は非常に豊かで磯場には 100 種類以上の生き物達が暮らしています。海の中をのぞけばそこはワンダーランド!! 各々のスタイルで楽しむ『磯遊び』、スタッフが同行して一緒に観察する『磯探検ツアー』がありますので、是非、春の磯場を体感してみてください!!



生き物が居そうな場所を探ります♪



アメフラシを発見!!



たくさんの生き物達に出会いました♪



ごはんのはなし

●○● 目にも鮮やか「春野菜」 ●○●



アスパラガスやスナップエンドウなど鮮やかな緑の野菜「春野菜」が青果コーナーに並ぶ季節がやってきました。見ているだけでも元気になれそうな色合いですが、春野菜の多くは「植物性アルカロイド」という成分が含まれているそうです。これは体の老廃物を排出するデトックス効果があり、冬の時期に老廃物がたまった身体をリセットし元気にしてくれます。

また他の季節のものよりも栄養が豊富で、例えば春キャベツはビタミンC、カリウム、カルシウムの含有量が多くなるそうです。柔らかく、甘みがあるのが特徴なのでせっかくならサラダなど生で食べたいですね。

大房食堂でもみずみずしい春キャベツを使った夕食を提供しています。春には春の物を食べて、新しい季節を元気に過ごしましょう♪

山崎（だいすけ）

野遊び日和 ヒラメ釣り



南房総といえば海！海といえば釣り！ということで今回は南房総の海岸からできるヒラメ釣りをご紹介します。ヒラメは砂地の海に棲んでいて、小魚などを待ち伏せして捕食しています。砂浜から狙ってみましょう！

時間は早朝。日の出を見て波の音を聞きながら贅沢な時間です。ルアーという疑似餌をつけて何度も投げ



てみましょう。海岸線をよく観察すると海流によりえぐられた深みや、小魚を追って集まった海鳥の群れなど自然からもらうヒントがあります。そういった場所にたまっていることが多いです。なかなか釣りにくい魚ではありますが、わりと岸の近くに潜んでいます。是非、一度砂浜からのヒラメ釣りにチャレンジしてみてください！ 白井(ねぎ)

みなみぼうそう 南房総の匠に聴く vol. 23 「ひふみ養蜂園株式会社」



代表取締役
尾形 玲子さん

手に持っているのはみつろうで作ったキャンドル。りんごやバラ、カタツムリなどいろいろな形があります。

「南房総・館山で養蜂を始めたきっかけ」は何ですか？

戦後間もない頃、父が創業しました。元々青森で弟子入りし、養蜂をしていたのですが、春が早く来る暖かい南房総は養蜂家にとって憧れの地だったこともあり、この地と花を求めて青森とを行き来するハチ中心の生活をしていました。当時は車を持つことも難しい時代で、リヤカーに巣箱を積んで運んだり、山でキャンプ生活をしてはちみつを採ったりしたことを、今でもよく覚えています。

「養蜂のお仕事の魅力」を教えてください。

ハチが一生懸命に集めてきてくれたはちみつを、お客様が美味しいと言ってくれた時は、やはりとても嬉しいです。

養蜂園を継ぐことになった当初、実はハチが嫌いでした。仕事内容も「きつい」「汚い」「危険」のいわゆる「3K」で、特に女性にとっては非常に大変なものでした。ですが、手をかけた分だけちゃんと育ち、自然の中で健気に一生懸命働く姿を見ると、父のハチに対する愛情を理解できるようになりました。今では、南房総の自然やハチの素晴らしさに非常に魅力を感じています。今年度から自然の家のプログラムで「みつろう体験」が始まります。「子どもたちに伝えたいこと」は何ですか？

小さい頃に「本物に触れる」という経験は非常に重要だと感じています。みつろうを実際に触ってみることで、ハチが小さな体で一生懸命働いていることを知ってもらいたいです。そして、そんな自然環境を守っていかなければならないということを感じて欲しいです。私たちにたくさんの恵みをもたらしてくれるハチ。怖がるのではなく、「ハチさん、ありがとう。」という気持ちになってもらえたら嬉しいです。

活動、体験についての詳細はお問い合わせください

ひふみ養蜂園株式会社

電話：0470-22-2353

たいぶさ樹木ずかん

ヤマグワ
(クワ科クワ属)



樹高 2～6mになる落葉小高木。養蚕用に各地に植えられたものが多く残っています。漢字では「桑」と書き、切っても又、又、又生えてくる事から由来しているそうです。

果実は5～6月ごろ、赤黒い実をつけます。実は虫や鳥の大好物ですが、園内を訪れる子どもにも大人気！実が無くなる前にぜひご賞味ください♪

場所：自然の家玄関、園路など

スタッフのつぶやき

テーマ「南房総で一番好きな景色は？」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

海岸線!! 砂浜、磯場などどこを切り取っても絵になります。 香山（かやまん）

房総のマッターホルン「伊予ヶ岳」からの大パノラマ! 白井（ねぎ）

南房総で一番好きな景色・・・ 夕暮れ時の平群川河口 神保（ジン）

海が大好きなので、施設内のタイマイ浜から見える景色が一番好きです! 鈴木（みーちゃん）

大房岬の南芝生園地から望む鏡ヶ浦。ぼーっと眺めていると心が落ち着きます。花嶋（ほによ）

春の桜が咲く時、城山公園入口の桜のアーチを眺めた風景。 松田（料理長）

平久里の田んぼから眺める富山。夕暮れ時がおすすめ!。 山崎（だいすけ）